

うつくしゅう
水吐く池や五月雨



槌もたつき
聞かせ水鶏よ狭山池

狭山池は1400年前の溜め池の原型を尋ねようと撮影を重ねるうちに古代の人びと、又鳥などの自然もこの池に映し出されていたと感じるようになりました。



波もなく泡立つ池や温む水

1400年前から池の水面に映し出される光景。



始まりがあるということは終わりがあるといわれるが、この池には、始まりも終わりもないのではないか。

小川幸三
1971年大阪芸術大学美術学科写真専攻卒業。
卒業後フリーカメラマンを経て、その後大阪店販売推進部にて広告写真を担当する。1980年代オリジナル表現芸術「コスミスト」を見出す。以後新しい写真表現を模索しつづけシュルレアリスム系団体に参加し作品を発表。現在無限像企画代表。

「最後に」
小川さんのこの作品展は1400年という長い年月、その時代時代でこの池を命をかけて守ってきた人々へのオマージュなのだと感じました。(2)